

障害福祉サービス事業者に対する経営管理研修 令和8年度受講者募集の御案内

受講者の募集を開始します

受付期間

令和8年7月1日(水)～7月24日(金)

経営管理研修とは

障害福祉サービス事業所等を運営する法人の責任者及び管理者等を対象に労務管理・人材育成等に関する基礎知識を習得し、事業所における職員の定着・資質向上を図ることを目的に実施しています。

経営管理研修

研修

基礎知識の取得
業務改善のきっかけ
情報交換

セミナー

障害福祉現場の課題
事例紹介

研修、セミナーとも受講することも可

※サービス推進費の選択式加算（研修）の対象研修（一部サービスのみ）

8年度実施概要

○研修

労務管理

【講義】 オンデマンド配信(動画視聴)

【演習】 オンライン、集合形式の2形式で実施

メンタルヘルス

【講義・演習】 集合形式

人材管理

【講義・演習】 集合形式

○セミナー

障害福祉現場の課題と対応、公的制度の活用、事例紹介等
オンデマンド配信(動画視聴)

○共通講義

研修のねらい・東京都の障害福祉サービスの現状

★申込はこちらから

<https://www.fukushizaidan.jp/120keieikanri/>

研修内容の詳細は
裏面参照

【問い合わせ】

公益財団法人東京都福祉保健財団

人材養成部 福祉人材養成室 障害者支援研修担当

電話 03-3344-8551

メール keieikanri@fukushizaidan.jp

労務管理研修

日頃の業務の中に意外な落とし穴が！？

- ・労働基準法の正しい理解とリスク回避
- ・管理者の役割

労働基準法を正しく理解し、勤務管理に関するトラブルを未然に防ぐためのポイントを習得する

講師

法律事務所First Penguin 代表 菅田 正明
有限会社Asis 代表 市原 純哉

受講者の声

- ・研修の受講では、グループワークを通じた法人の労務管理状況など、率直な話を聞くことのできる機会が貴重であった。
- ・労務管理をすべて完全に問題なくすることはなかなか難しいが、あるべき姿を設定し、改善の余地のあるものとして、少しでもよくなるよう取り組み続けたい。
- ・管理者としての役割を再確認し、職員の育成や定着を見据えた関わりかたを行いたい。
- ・労務管理の見識を深め、実労働に反映できるようにしたいと思った。
- ・他法人の方や、弁護士の先生とお話する機会はないので、グループワークは非常に勉強になりました。

メンタルヘルス研修

ハラスメントがメンタルヘルスに及ぼす影響と、管理者に求められる役割
職員のいつもと違う様子への初期対応から復帰の決定・復帰後のフォロー、どうする？

ハラスメントがもたらす影響とメンタルヘルスに対する基礎知識を身に付け、部下への正しい対応を習得し、組織としての対応策を考える

講師

本山社会保険労務士事務所
特定社会保険労務士 本山 恭子
ハラスメント防止コンサルタント 小川 裕子
社会福祉法人正夢の会 理事長 山本 あおひ

受講者の声

- ・従業員一人一人の心のケアから相手の立場になって伝える事の気配りを学べたように感じた。
- ・研修内容を自分自身よりも、いかにチームスタッフに伝えられるか、またその意識や気持ちの変化をどれだけ現場の支援の中に落とし込むか、それを管理することに仕事の重要性和やりがいを見え、再認識できた。
- ・ワークでは、自分だけの視点だけではなく、複数の視点から課題を見つけることができ参考になった。
- ・基本的な取組みで職員の少しの変化にも対応できる。

人材管理研修

【採用・定着編】

風通しの良い職場づくりを目指し「採用」と「育成」と「定着」につなげる

- ・事業所の良い点や強みを発信するには今の職員に聞くことが効果的
- ・未経験職員の知りたいことは何かを知り、育成面談で一緒に考えて不安を小さくする
- ・「問題解決スキル」「職場の断捨離」「都宣言事業シート」「管理者の役割」紹介予定

「日頃の気づきを話して、聴いてもらい、職場に反映」（職場や人間関係の気づき可）

【育成面談用・定着編】

職員との対話を増やして「採用」と「定着」につなげる

- ・未経験職員の知りたいことや不安を育成面談で確認する
- ・初級と中級職員の期待役割は違う事を面談にも反映する
- ・「面談を変える」「職場の断捨離」「都宣言事業シート」「管理者の役割」紹介予定

「日頃の気づきを話して、聴いてもらい、職場に反映」（どのような気づき可）

【共通】

日頃の気づきを自由に書き出してもらいグループで発表。

「話しをすること、聞いてもらうこと」がいかに大切か改めて確認してもらう。

職場で問題を抱えている管理者なら誰でも参加できます。

シンプルですが気づきの多い演習を目指します。

講師

社会福祉法人齊信会 理事 新藤 建

社会福祉法人嬉泉 理事 板橋区立赤塚福祉園 施設長 小池 朗

受講者の声

- ・経営管理について学ぶ良い機会となった。また、他法人の取り組みについて情報共有できる良い機会であると感じた。
- ・どこかの事業所も、似たようなことで悩んでいる事がわかった。それぞれの事業所に合ったやり方を模索して実践しているにも関わらず成果が表れない難しさも共有できた。「これをやれば解決」という事は無いができることはやっていくしかない。
- ・「人材を人財にしていく」という説明は、非常に納得できる言葉だった。そのために、明確な基準を提示して、職員自身が目標をもって業務を取り組めるようにし、評価者はその基準に基づき、結果や成果を共有、評価して、認めていくようにしたいと思った。コミュニケーションの大事さ大切さを改めて学べた気がする。
- ・『相手の身になって聴くこと』を意識して、職員・ヘルパーさん・利用者様と関わっていきたいと思った。